

南庄内合併協議会策定の新市建設計画（案）新旧対照表

旧は庄内南部地区合併協議会策定の新市建設計画をいう

頁	行	旧	南庄内合併協議会(新)	理由
第一章 序 論				
2	1	「 <u>庄内南部地区の7つの</u> ……」	「 <u>南庄内の6つの</u> ……」	庄内南部地区は従前の協議経過より構成団体数が7市町村を示すことから、庄内南部地区を南庄内とし、また、団体数を7から6とする。
	5～	「……、この <u>7市町村</u> で構成する「 <u>庄内南部地区合併協議会</u> 」を設け、……」	「……、この <u>6市町村</u> で構成する「 <u>南庄内合併協議会</u> 」を設け、……」	
	7	「……、この <u>7市町村</u> が1つの市として発足した場合、……」	「……、この <u>6市町村</u> が1つの市として発足した場合、……」	
	14	「この <u>庄内南部地区</u> の市町村も……」	「この <u>南庄内</u> の市町村も……」	
3	11	「従って、私たち <u>庄内南部地区7市町村</u> は、……」	「従って、私たち <u>南庄内の6つの市町村</u> は、……」	
第二章 新市の概況				
6	17～	「新市は、……、南北約 <u>58km</u> におよび、総面積は <u>1,344.7km²</u> となります。」	「新市は、……、南北約 <u>56km</u> におよび、総面積は <u>1,311.49km²</u> となります。」	構成団体数が7から6となったことからの数値データの変更。
	19～	「土地の利用状況……、森林が <u>958.72 km²</u> で約 <u>71%</u> 、農用地が <u>212.15 km²</u> で約 <u>16%</u> 、宅地が <u>36.85 km²</u> で約 <u>3%</u> となっています。」	「土地の利用状況……、森林が <u>958.72 km²</u> で約 <u>73%</u> 、農用地が <u>188.14 km²</u> で約 <u>14%</u> 、宅地が <u>34.17 km²</u> で約 <u>3%</u> となっています。」	
	24～	「新市の人口は、……、平成12年の国勢調査、 <u>155,425</u> 人となっています。」	「新市の人口は、……、平成12年の国勢調査、 <u>147,546</u> 人となっています。」	
7	1～	「……、平成12年には <u>23.9%</u> と増加しています。」	「……、平成12年には <u>23.7%</u> と増加しています。」	
	7～	「新市の世帯数は、……、昭和40年の <u>36,475</u> 世帯が平成12年には <u>46,370</u> 世帯となり、……」	「新市の世帯数は、……、昭和40年の <u>34,748</u> 世帯が平成12年には <u>44,382</u> 世帯となり、……」	

頁	行	旧	南庄内合併協議会(新)	理由
8		表1～表3	数値データの変更	
第三章 主要指標の見直し				
10	3～	「国立社会保障・人口問題研究所では、 <u>庄内南部地区7市町村</u> における人口は、平成12年の <u>155,425人</u> (国勢調査)から、平成27年には <u>141,228人</u> に……」	国立社会保障・人口問題研究所では、 <u>南庄内の6つの市町村</u> における人口は、平成12年の <u>147,546人</u> (国勢調査)から、平成27年には <u>134,324人</u> に……」	庄内南部地区を南庄内とし、また、団体数を7から6、及び、数値データの変更。
	6～	「こうした中、……、第二次産業で約 <u>1,600人</u> 、第三次産業で約 <u>1,600人</u> 、合わせて約 <u>3,200人</u> の新規雇用を創出し、これら新規就業者の家族等を含めて約 <u>4,800人</u> の社会増を見込み、……」	「こうした中、……、第二次産業で約 <u>1,500人</u> 、第三次産業で約 <u>1,600人</u> 、合わせて約 <u>3,100人</u> の新規雇用を創出し、これら新規就業者の家族等を含めて約 <u>4,500人</u> の社会増を見込み、……」	
	10～	「平成27年の総人口は、…、 <u>146,000人</u> と見通します。」	「平成27年の総人口は、…、 <u>138,900人</u> と見通します。」	
	15～	「年少人口については、……、少子化の基調が続き <u>18,700人</u> に減少し、構成比も <u>12.8%</u> に低下するものと見込まれます。 生産年齢人口に……、 <u>85,400人</u> に減少し、構成比は <u>58.5%</u> となります。 老年人口は、総人口の減少傾向の中で、逆に <u>41,900人</u> と増加します。」	「年少人口については、……、少子化の基調が続き <u>17,900人</u> に減少し、構成比も <u>12.9%</u> に低下するものと見込まれます。 生産年齢人口に……、 <u>81,200人</u> に減少し、構成比は <u>58.4%</u> となります。 老年人口は、総人口の減少傾向の中で、逆に <u>39,800人</u> と増加します。」	
	22～	「就業人口は、……、平成27年には、 <u>75,500人</u> に減少すると見込まれます。 この内、第一次産業は、就業者数、構成比とも減少し、それぞれ <u>5,400人</u> 、 <u>7.2%</u> となるものと見込まれます。また、第二次産業においては <u>25,800人</u> と就業者数が減少するとともに、構成比も <u>34.2%</u> に低下するものと推計されます。」	「就業人口は、……、平成27年には、 <u>71,600人</u> に減少すると見込まれます。 この内、第一次産業は、就業者数、構成比とも減少し、それぞれ <u>5,000人</u> 、 <u>7.0%</u> となるものと見込まれます。また、第二次産業においては <u>24,400人</u> と就業者数が減少するとともに、構成比も <u>34.1%</u> に低下するものと推計されます。」	

頁	行	旧	南庄内合併協議会(新)	理由
10	27～	「更に、第三次産業については、就業者数は44,300人に増加し、構成比も大幅に伸び、 <u>58.6%</u> になるものと見通されます。」	「更に、第三次産業については、就業者数は <u>42,200</u> 人に増加し、構成比も大幅に伸び、 <u>58.9%</u> になるものと見通されます。」	構成団体数が7から6となったことからの数値データの変更。
11	2～	「世帯については、……、平成27年の普通世帯は <u>50,900</u> 世帯に増加するものと見込まれます。なお、1世帯当たり人員は <u>2.81</u> 人と推計されます。」	「世帯については、……、平成27年の普通世帯は <u>48,800</u> 世帯に増加するものと見込まれます。なお、1世帯当たり人員は <u>2.78</u> 人と推計されます。」	
12		表1 将来の人口、……	数値データの変更	
第四章 新市建設の基本方針				
14	2～	「庄内南部地区を構成する7つの市町村は、庄内平野……」	「南庄内の6つの市町村は、庄内平野……」	庄内南部地区を南庄内とし、団体数を7から6に変更する。
	7～	「そして、新時代を迎えた今、7市町村では、それぞれの地域の歴史、……」	「そして、新時代を迎えた今、6市町村では、それぞれの地域の歴史、……」	
	9～	「……少子高齢化など、庄内南部地区を巡る目下の重要な課題にも、……」	「……少子高齢化など、南庄内を巡る目下の重要な課題にも、……」	
	14～	「……、それぞれに新時代に対応しようとする7市町村の主要な……」	「……、それぞれに新時代に対応しようとする6市町村の主要な……」	
	21～	「これは、新市建設にあたって、7つの市町村がそれぞれの地域特性を……」	「これは、新市建設にあたって、6つの市町村がそれぞれの地域特性を……」	
15	10～	「教育を尊ぶ庄内南部地区の伝統を……」	「教育を尊ぶ南庄内の伝統を……」	
16	4	「庄内南部地区は我が国を代表する食料生産基地であり……」	「南庄内は我が国を代表する食料生産基地であり……」	

頁	行	旧	南庄内合併協議会(新)	理由
17	3 ~ 11 ~	「 <u>庄内南部地区</u> に残された日本の原風景を大切に継承しつつ、……」 「致道館教育など <u>7</u> 市町村が培ってきた学びの伝統を、……」	「 <u>南庄内</u> に残された日本の原風景を大切に継承しつつ、……」 「致道館教育など <u>6</u> 市町村が培ってきた学びの伝統を、……」	庄内南部地区を南庄内とし、団体数を7から6に変更する。
21	17	「幸い、 <u>庄内南部地区</u> には多様……」	「幸い、 <u>南庄内</u> には多様……」	庄内南部地区を南庄内とする。
22	2 ~ 4	「新市の行政区域は、東西約43km、南北約58kmにおよび、総面積は1,344.7k㎡です。平成13年の利用区分別土地利用の現況は、農用地が212.15k㎡で約16%、森林が958.72k㎡で約71%、宅地が36.85k㎡で約3%、その他が136.98k㎡で約10%となっています。」	「新市の行政区域は、東西約43km、南北約56kmにおよび、総面積は1,311.49k㎡です。平成13年の利用区分別土地利用の現況は、農用地が188.14k㎡で約14%、森林が958.72k㎡で約73%、宅地が34.17k㎡で約3%、その他が130.46k㎡で約10%となっています。」	構成団体数が7から6となったことからの数値データの変更。
第五章 新市の施策				
26	3 6	「新市では、 <u>庄内南部地区</u> に残された日本の原風景を大切に継承しつつ、……」 「このため、人口規模に応じたコンパクトな市街地を形成するとともに、……」	「新市では、 <u>南庄内</u> に残された日本の原風景を大切に継承しつつ、……」 「このため、人口規模に応じたコンパクトな市街地の形成や、……」	庄内南部地区を南庄内とする。
46	6	「また、マリーナやスキー場、 <u>屋内多目的運動施設</u> といった特色あるスポーツ施設やプール、……」	「また、マリーナやスキー場といった特色あるスポーツ施設やプール、……」	三川町の愛称「アスレなの花」の施設名のため、削除。

頁	行	旧	南庄内合併協議会(新)	理由
第八章 財政計画				
52 53		財政計画表	数値データの変更	
54	20 ~ 25 ~	「本計画は、・・・、合併前の庄内南部7市町村の普通会計ベースで作成します。また、・・・作成します。」 「7市町村の平成11年度から平成14年度決算額並びに平成15年度の決算見込額の動向をもとに、・・・とします。」	「本計画は、・・・、合併前の構成6市町村の普通会計ベースで作成します。また、・・・作成します。」 「6市町村の平成11年度から平成15年度決算額並びに平成16年度の決算見込額の動向をもとに、・・・とします。」	構成市町村が6市町村となることによる数値データの置換え。
55	7 ~ 22 ~	「普通交付税については、7市町村の平成15年度交付額、また国の地方財政計画を踏まえた平成16年度普通交付税の見通しを勘案し、合併に伴う支援措置分や特例債の交付税措置分を除き、総額が抑制される見込として計上。 合併初年度から・・・合併臨時措置（合併補正）分として19.7億円を計上。 特別交付税については、・・・特別交付税措置分として7.7億円を計上。」 「国庫支出金については、合併市町村補助金3カ年度分9.6億円を計上。県支出金については、・・・まちづくり交付金として合計3.5億円を計上。」	「普通交付税については、6市町村の平成16年度交付額、また平成17年度の地方財政計画の見通し等も勘案し、合併に伴う支援措置分や特例債の交付税措置分等を見込んで計上。 合併初年度から・・・合併臨時措置（合併補正）分として16.7億円を計上。 特別交付税については、・・・特別交付税措置分として7.3億円を計上。」 「国庫支出金については、合併市町村補助金3カ年度分8.7億円を計上。県支出金については、・・・まちづくり交付金として合計3億円を計上。」	平成15年度決算見込数値から平成15年度決算数値への置換え。 平成17年度の地方財政計画の見通し等による数値の見直し。

頁	行	旧	南庄内合併協議会(新)	理由
55	26～	「新市の普通建設事業に係る新規発行債は、・・・、平成17年度と平成27年度に各39億円、平成18年度から平成26年度までは、各年度58億円の合計600億円を計上。 臨時財政対策債分は、平成16年度見込額と同額の30億円を各年度に計上。」	「新市の普通建設事業に係る新規発行債は、・・・、平成17年度から平成26年度までは、各年度約50億円、平成27年度に約48億円を計上。 臨時財政対策債分は、平成17年度については、地方財政計画の見込みにより対前年度比20%減程度とし、平成18年度以降については、対前年度5%減程度として各年度に計上。」	構成市町村が6市町村となることによる数値データの置換え。 平成15年度決算見込数値から平成15年度決算数値への置換え。 平成17年度の地方財政計画の見通し等による数値の見直し。
56	5～ 15～ 30～	「議員については、定数特例(41人)を採用し、その後定数34人とすると設定して計上。」 「新市の普通建設事業費として、近年の実績や合併特例債事業の活用を勘案し、合併初年度となる平成17年度と平成27年度に各60億円、平成18年度から平成26年度までは、各年度80億円の合計840億円で事業実施すると設定して枠計上。」 「県まちづくり交付金・・・合計3.5億円を計上。」	「議員については、定数特例を採用し、その後定数34人とすると設定して計上。」 (15～) 「新市の普通建設事業費については、近年の実績等を勘案し、平年基準事業費ベースを各年度70億円とし、計画期間中においては、合併特例債を十分活用することとして計上。」 (29～) 「県まちづくり交付金・・・合計3億円を計上。」	